

子牛の呼吸器病・下痢対策

寒くなると子牛の抵抗力が低下し、更に牛舎の換気不良や乾燥により病原体に感染しやすくなります。

子牛の主な呼吸器病及び下痢の概要については下表のとおりです。効果的な対策はその原因を特定し適切なワクチンや消毒薬を使用することに加え、裏面に記載した**飼養衛生管理の徹底が重要**です。

病名	主な症状	対策等
牛伝染性鼻気管炎、牛RSウイルス病	高熱、流涙、鼻汁	市販ワクチンの活用・隔離・同居感染の防止・ 対症療法
牛パスツレラ症	発熱、流涙、鼻汁、発咳 他疾病との混合感染が多い	隔離・同居感染の防止
牛マイコプラズマ肺炎	発熱、眼結膜の充血、咳、水様鼻汁、中耳炎 他疾病と複合感染すると重症化	隔離・同居感染の防止 早期の治療
牛大腸菌症	灰色～黄色水様下痢・脱水・元気消失	隔離・脱水注意・同居感染の防止
サルモネラ症（牛）、牛クロストリジウム・パー フリンゲンス感染症	下痢・血便	隔離・同居感染の防止・生菌剤の投与・牛舎の 消毒
牛ロタウイルス病、牛コロナウイルス病	乳白～黄色水様下痢・発熱・脱水・元気消失 病気の広がりが早い・冬季に多い	同居感染の防止・市販ワクチンの活用
牛コクシジウム病	血便・食欲減退・元気消失	隔離・同居感染の防止・飼育環境の浄化

発生予防対策

① 元気な子牛を育てましょう！

- ・ 畜舎環境は清潔にしましょう。
- ・ 初乳をできるだけ早期に十分量与えましょう。

② 外部からの病原体の侵入を防止しましょう！

- ・ 農場専用の長靴を用意しましょう
- ・ 導入や下牧してきた牛は、2週間程度隔離してから群にいれましょう。
- ・ 野生動物・野鳥対策をしましょう。
- ・ 踏み込み消毒槽を使用する際は、長靴の汚れを落としてから消毒しましょう。

水洗用と消毒用の二つ

を置くと効果的！



発生した場合の対応

① 発生した場合の対応症状がある個体は隔離して様子を見ましょう！

- ・ 下痢や熱がある、元気がないなどの個体がみられたら、すみやかに隔離しましょう。そのために、あらかじめ、隔離できるスペースを作っておきましょう。

- ・ 症状がある個体のお世話をしたら、長靴・手袋は交換しましょう。

② 家保や獣医師に相談しましょう！

脱水対策や保温をしっかりするとともに、早めに獣医師に相談しましょう。